

平成23年度 第2回二宮町ごみ減量化推進協議会 会議録

日 時：平成24年2月1日(水)

午前10時～午前11時50分

場 所：二宮町役場2階 第1会議室

出席者：土屋会長/工藤委員/平田委員 / 浅田委員 / 山田委員

事務局：町民生活部長 石井/生活環境課長 筑紫 /生活環境班主任主事 須田

1. 開会

会長あいさつ

今回2回目の会議ということになります。皆さまから最後に時間をとりますのでご意見があれば出していただいて、町行政に少しでも反映していただければと思いますのでよろしくをお願いします。

2. 議題1

会長により議事進行

(1) 指定ごみの仕様の変更について

事務局より資料説明

委 員： ごみの袋の値段は段階的にリッターごとに単価を上げていかないと、ごみの減量につながらないと思います。努力して20ℓで出す人と45ℓで出す人との負担が変わらないということは、ごみの減量を真剣に考えなくてもよいと考えてしまいます。45ℓで出すということは、それだけのごみを出すということで、もう少し値上げしても良いのではと思っています。

平袋式のごみ袋は確かに扱いにくいところがあります。今までと同じ枚数で平袋にするのですか？

事務局： そうです。材質、数量については今のごみ袋と同じです。

これまで住民の方には、ごみの減量化でご苦労をおかけしご協力いただいているので、多少コストがかかっても利便性を図った方がよいと考え、ロール式を採用してきました。しかし、財政上非常に厳しい状況になり、少しでもコストダウンを図るということで、平袋式を検討し始めました。私たちだけの判断では非常に難しいので、今回議題としてあげました。

委 員： 通常、生ごみは、10～20ℓに入れる方が多いです。45ℓは落ち葉が多いです。そうすると今の価格は、重量や焼却に係る熱量を考え、換算した設定なのかなと考えました。ロール式と平袋式ですが、ロール式の方が大変使いやすいと思います。ロール式は違う大きさを使う時も何リットルかすぐ見えるようになっており、取

り出しやすいです。

製造コストを下げた結果は町民に還元されると考えますが、このお金はごみの処理がいくらで、こういうところに使われていると、見えるようにすることが必要だと思います。税収入がないからということでの手数料などの値上げは如何なものなのかと勝手に思います。

委員： 10ℓ、45ℓのリッター当たりの差は話し合っただけで決めるべきだと思いますが、価格を下げる必要はないと思います。今後の情勢で処理費が下がることはありません。ごみ処理にはお金がかかると徐々に皆さんに知れ渡ってききましたので、価格を下げる必要はないと思います。

袋の強度は、カラスや猫の問題があるので、強度が弱いとステーションが汚れます。製造費を安くする中でも、強度を強くしていただけると、皆さんにきれいに気持ちよくごみを出していただけたらと思うので、強度の問題だけは心配です。

事務局： 袋にはバランスが必要で、柔軟性、強度が必要です。強度が強すぎてもビリッと切れてしまいます。

委員： 今回のロール式がそうですね。

委員： 強度の面からは、分からなかったのですが、前の平袋式に比べると今回のロール式は使いやすいです。ポリエチレンの50%レスの商品が出ている中で、住民の出しやすさ、処理として使えるかどうかなどバランスが難しいでしょうけど。

委員： 汚れたステーションは、収集業者の方が掃除しているのですか？

事務局： そうです。

会長： 形状は一緒ですか？単なる袋ですか？

事務局： 単なる四角の袋とレジ袋みたいな取っ手のある袋の両方があります。一番安いのは四角だと思います。

会長： いわゆるレジ袋式も製造できるのですか？

事務局： できます。

会長： さきほど参考見積の単価をおっしゃったのですが、それはレジ袋式の物ですか？

事務局： そうです。

委員： それなら良いと思います。

会長： 大磯町では、平袋式ということですが、ステーションの汚れはどうですか？

事務局： きれいに使っていると思います。平袋式は保管や袋を出す時の不便さはあると思いますが、それ以外は変わらないと考えています。

ただ、平袋式がよいか、ロール式がよいか、本当に難しいところです。平袋にして住民の皆さまのご理解が得られるのかどうか。

委員： 慣れではないですか？

事務局： ロール式は製造できる工場が少ないため、価格面でどうしても高くなってしまいます。

平袋にすれば競争性も高くなるので、コストが安くなり、町の財源的には使えるお金が増えるということになります。

委員： 平袋にするついでに 450の値段を上げたらどうでしょうか？ 450で出す人はそれなりにご負担をお願いしますということで値上げすれば少しばかり財源が入ってくるのではないでしょか。

事務局： 今、広域化処理を目指していますが、広域化が実現した時、ごみ袋の価格について検討しなければいけないと考えています。平塚市、大磯町は有料化していません（大磯町は指定袋はある）が、もし導入した場合、1市2町で手数料が違うと不公平になりますので、その時が価格を変える時期だと考えております。例えば来年度変えて、また3年後に変えますということは避け、一度にしたいという気持ちを持っております。今日の皆さまからのお話でも金額は変えた方が良いということですので、その時に反映させていきたいと思えます。

委員： 長期の目で混乱が起きないようにすることが重要ですね。

委員： 今年度は、なるべく単価を変えないで、袋をまず変えた方が良いと思えます。

事務局： そうなれば、形状のみ変更ということになりますので・・・

委員： ロール式のものは、平袋式が出てそのまま使用可能としますか？

事務局： 使えるものとします。

委員： 以前、旧ごみ袋について町が買い戻したと思えますが・・・

事務局： あの時は手数料が変わったのでそうになりました。手数料を変えないということであればその必要はありません。

委員： 二宮のスーパーには大磯のごみ袋が売っていますが、二宮のごみ袋は売っていないということがありますよね。

事務局： 最初に指定ごみ袋を導入した時に、大手スーパーで販売してしまいますと買いに行かれない方が出てしまうのではないかとということで、身近でたくさんのお店に置くようにするために大手スーパーやコンビニには置きませんでした。その後、コンビニや生協さんには扱っていただいておりますが、現在も地元に着した販売にしております。

会長： ほかにご意見が無いようですから、この協議会の意見として私なりにまとめますので、後からご意見をいただければと思えます。ロール式から平袋式への変更には抵抗ありません。ただし、強度をしっかりとって、形は今と同じような取っ手付きのレジ袋型、手数料については現状で据え置きますが、同時にリッター当たりで値段を統一することを検討するという事で協議会の意見としてよろしいでしょうか？

委員： 1つ質問があるのですが、例えばリッター当たりの価格を統一して、450を450円として100を100円とした場合、450に満杯に入れている人はいないと思えます。だから450の袋1枚使うより200の袋2枚使った方が、200は200円なので2枚使

っても 50 円安くなります。200 が売れる可能性はないでしょうか？

事務局： あります。それでも 50 の減量化ができていくということになります。450 は作りませんということも 1 つの手法かもしれませんが、剪定枝がありますので 450 は必要です。ただ、450 の袋の販売数は減ってきています。今は 300 の袋がメインで、100、200 は増加傾向です。ということは減量化できてきているということです。町民の皆さまに協力していただいているということが目に見えてきていますので、会長及び委員の皆さまからそういう意見があったことを踏まえた上で今後検討を重ねていきたいと思えます。

3. 議題 1

会長により議事進行

(2) 廃食油分別収集について

事務局より資料説明

委員： 廃食油を集める方がいらっしゃいますよね。その方たちはどうするのですか？

事務局： まだ廃食油委員の方にはお知らせしておりません。例年 4 月に会議を行いますので、その時に分別収集の開始の予定をお知らせします。その時に今後どうするかについて話合いたいと思えます。

委員： コンテナを置かないで収集するということですので、例えば国道沿いなど倒れて転がると大変なことになるので、その辺を精査した方が良いです。

事務局： ビンの場合は袋に入れて出してくださいとしていますので、油についても再調整させていただきます。平塚市、大磯町がやっていますからその状況も踏まえて検討いたします。

3. 議題 1

会長により議事進行

(3) 今後のごみ減量化方策について

事務局より資料説明

※スライドにて平塚で実施している水切り道具を紹介

委員： 生ごみは 1 日約 200 g と言われていています。二宮町の水切りネットはうどん粉をこねるように絞ると結構しぼれます。平塚で配布した物の容量はどれくらいでしょうか。

事務局： いわゆる三角コーナーを柔らかくして、しぼれる物です。ただ、ちょっと硬いので完全には絞れないです。容量はそれほど入らないと思えます。

委員： それなら、二宮のネットの方が良いです。

事務局： 以前、町でもいろいろな製品を試してみたのですが、あまり好評ではなかったものもあります。なので、次回配布する際は、しぼることに重点を置きたいと思えます。

委員： 講習会はどうですか？

事務局： まずは、ホームページなどでPRをしていきたいと思えます。

委員： 三角コーナーを置かないことが、水にぬらさないこととなります。じゃがいもの皮は、他のところでむき、乾かす。それが出来ない方は、1回洗っておいて、水切りしてから皮をむく。水切りネットに入るのはキャベツの本当に小さなところだけです。

ネットを触ることを嫌がる人がいます。絞ると手がヌタヌタになりませんかといひます。1回使ってごみを捨てて、もう1回使って捨てればよいのですが、忙しいということもあり出来ません。でもやっぱりネットはやっていくべきです。

今は通販でおしゃれな三角コーナーが売っていますが、使い勝手はよくないと思えます。

事務局： では、今の水切りネットを配布しながら、もっと水切りについてPRをしていくということといたします。

委員： 一番いいのはお茶ガラです。お茶ガラは普通の鉢のところに入れて置けば、全然臭いもしないですし、カラカラになります。コーヒーなんかおしゃれな感じでやるのもいいですよ。

事務局： そういった個別の水分減量のPRもよいですね。

会長： 水切りネットの配布については、来年度できるのですか？

事務局： 今はまだ予算がはっきりしていないのですが、今まで通りお渡しできるか分かりません。もしかしたら短期的なキャンペーンになるかもしれません。

委員： 生分解性と生分解性ではないネットでは、生分解性の方が高いですよ。

事務局： そうですね。ただ、生ごみ処理の普及もしていますから、そこで一気に変えられるかどうか。

委員： ネットを断る方もいるのですよ。

事務局： 販売店に聞いたところそのようですね。もっとPRしていきたいと思えます。

会長： 水切りネットの使い方と一緒に水分ひとしぼりのPRを進めていただければと思えます。

3. 議題1

会長により議事進行

(4) その他

事務局より資料説明

委員： 環境掲示板を発行するとのことですが、回覧をするのですか。

事務局： これは、地域環境推進員さんに情報提供し、地区で回覧するかどうかは地域環境推進員さんにお任せしようと考えています。

会長： 他に何かご意見はございますか？特になければ冒頭で申し上げた通り、委員の方から忌憚のない意見を出し合うため、時間を多少取りたいと思います。

4、5日前の新聞に2014年くらいの実施に向けて有用金属のリサイクル制度について書いてありました。駅だとか合同庁舎に収集ボックスを置いてレアメタルを回収する市があるということですが、町としてはいかがですか？

事務局： それは小型家電のリサイクルの話ですが、九州が盛んです。実例もありますので、全国的に広がってくる制度だと思えます。ただし、まだ1市2町の広域の話には出てきていない新しい話です。どういう形で収集・処理するのかということ、もう少し国全体で話を進めていかないと難しいと考えます。例えば自動車リサイクル法などの個別のリサイクル法になれば、町として分別区分を1つ設けるのか、拠点で収集するのかを検討していくことになると思います。

会長： 2年後にそういう風になってきそうだということなので、生活環境課では実例を調査いただいて、準備していただければと思います。

また、可燃ごみの積替施設が稼働しましたが、臭気対策は具体的にどのようにされていますか？

事務局： 積替施設の建物は密閉式で、表に空気が漏れない構造になっています。パッカー車の入口はエアカーテンと高速シャッターがついており、普段はシャッターが下りた状態で外部と遮断されています。パッカー車が入ろうとするとエアカーテンが作動し、その後高速シャッターが開きます。こうすることで中から空気は漏れません。内部の空気については活性炭装置で脱臭して基準を満たすようにしています。

※スライドで積替え施設の状況説明

事務局： 汚水はごみと一緒にコンテナに入りますが、飛んだものや洗車の水については、専門に処理する機械がついていますので、そこで浄化して流します。側溝に流さず、専用の管を900メートル通して下の川まで直接流すということにしています。

これにより、可燃ごみの積替えについては今まで不安定でしたが、安定した業務ができるようになりました。

会長： 他に何かございますか？特になければ第2回会議は以上で終わりにしたいと思います。ありがとうございました。